

事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、東京都水道局、福岡市水道局、東京水道サービス(株)、(株)PUC等
事業概要・目的	<p>ヤンゴンでは、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが円借款事業に付した技術協カプロジェクトを実施。東京都水道局は、福岡市水道局と共同で現地セミナーや訪日研修を実施。</p> <p>2017年度：研修受入（2018年1月25日～1月30日） 講師派遣（2018年2月1日～2月7日） 講師派遣（2018年2月20日～2月24日）</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業（ハノイにおける無収水削減技術研修・能力向上プロジェクト）
実施期間	2016年2月～2019年1月
主催機関	JICA、東京都水道局、東京水道サービス（株）
事業概要・目的	<p>ベトナム・ハノイにおいて、無収水削減のための人材及び技術が不足していることから、ハノイ水道公社職員の無収水削減に関する能力向上に向けて、現地や日本における技術指導や日本製の資器材の供与を通じた技術協力を実施。</p> <p>2017年度：研修受入（2017年10月10日～10月20日）</p>
対象（相手）国・機関名	ベトナム ハノイ水道公社

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	--------

事業名称	ヤンゴンにおける無収水対策事業
実施期間	2016年～2022年(予定)
主催機関	東京都水道局、東京水道サービス（株）等
事業概要・目的	<p>2014年度にヤンゴンで実施した無収水対策パイロット事業の成果を踏まえ、ヤンゴンの一部地域においてエリアを拡大し、ODA(事業費：18億円)を活用したインフラ整備事業を実施。また、インフラ整備が完了した地区から、別途ヤンゴン市資金による維持管理事業を順次実施予定。</p> <p>2017年度：2017年7月11日 基本事項合意書締結</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 (SCADAを活用した水運用・NRWマネジメント能力向上プロジェクト)
実施期間	2017年8月～2020年3月
主催機関	JICA、東京都水道局、東京水道サービス（株）等
事業概要・目的	<p>高い無収水率が課題となっているマレーシア・ラブアン島において、SCADAを活用した水運用・無収水マネジメント削減に関するラブアン水道職員の能力向上に向けて、技術指導や機材供与を通じた技術協力を実施するもの。</p> <p>2017年度：技術協力事業の実施に係る覚書の締結（7月4日）</p>
対象（相手）国・機関名	マレーシア エネルギー・環境技術・水省

写真



▲SCADAモニター（イメージ）



▲東京の実技フィールドでの実習（イメージ）

事業体（団体）名	東京都水道局
----------	---------------

事業名称	アジア水道事業体人材育成ネットワーク（A1-HRD）
実施期間	2017年11月1日（水）～3日（金）
主催機関	東京都水道局：主催国はメンバー間の持回り
事業概要・目的	<p>アジア諸都市の水道事業体がメンバーとなり、人材育成や研修手法などに関する情報交換を通じて、アジア全体の水道事業のレベルアップに寄与しようとする取組み。</p> <p>主な活動内容：年1回の会議：人材育成をテーマとした発表・質疑応答及び意見交換、その他自由討議、視察の実施。 ホームページ、ニュースレターによる人材育成の情報交換。</p> <p>2017年度は、台中市（台湾）にて第10回会議を開催した。</p>
対象（相手）国・機関名	<p>大韓民国：ソウル特別市上水道事業本部</p> <p>台湾：台湾自來水公司（TWC）、台北自來水事業所（TWD）</p> <p>タイ：バンコク首都圏水道公社（MWA）</p> <p>日本：東京都水道局</p>

写真

